

## 19

## しおりをつくろう

徳島県教育研修センター 山口 寛

## 1. ねらい

かんそうした草花は、色や形が変化しにくくなります。電子レンジを利用すると、数10秒で草花をかんそうさせることができます。この方法でかんそうさせた草花をラミネーターにかけて、しおりをつくってみましょう。身近にある草花を短い時間でしおりにできる楽しさを味わってください。

## 2. 用意するもの

- いろいろな草花や葉脈標本など
- 厚紙（画用紙）
- ラミネーター用フィルム（名刺サイズ）
- 電子レンジ
- パンチ
- リボン
- ハサミ
- ティシュペーパー
- 色つきコピー用紙（台紙）
- ラミネーター
- タイル（10×10 cm）
- 軍手
- 輪ゴム
- ピンセット

## 3. やりかた

## (1) 草花のかんそう

- ① 気に入った草花を台紙の大きさにあわせて切りとります。
- ② 厚紙のあいだに、ふたつおりにした1まいのティシュペーパーをのせます。
- ③ ①の草花をティシュペーパーと厚紙ではさみます。
- ④ つぎに、厚紙ごと2まいのタイルではさんで輪ゴムをかけます。
- ⑤ ④を電子レンジ（600 W）に入れ、30～40秒ぐらい加熱します。加熱する時間は草花の種類にあわせてかげんします。

## (2) ラミネートのしかた

- ① 加熱がおわったタイルは、やけどをしないように気をつけてとりだします。手には軍手をつけましょう。
- ② ティシュペーパーのあいだからピンセットをつかって草花をとりだします。このとき、草花がティシュペーパーに少しくつつくぐらいがほどよい加熱時間です。
- ③ 台紙の上に②の草花をのせ、ラミネーターフィルムにはさんで、ラミネーターにかけ

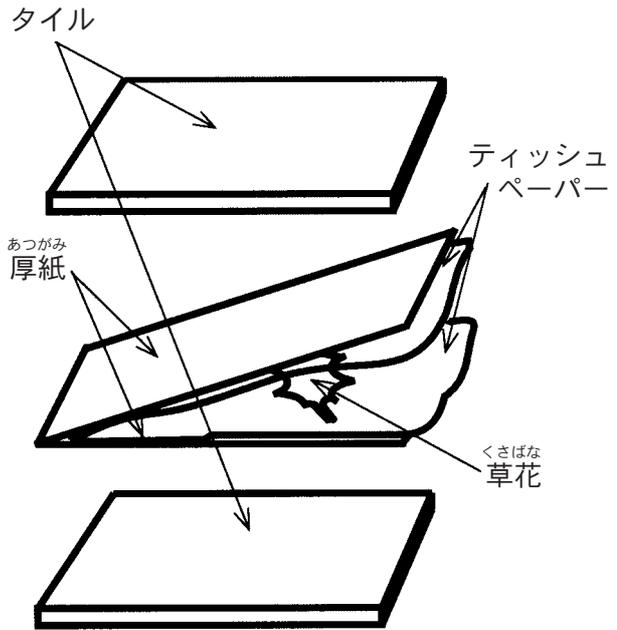
ます。

(3)しおりのできあがり

- ①パンチをつかってラミネーターフィルムにあなをあけます。
- ②①のあなにリボンをとおしてむすびます。これで、しおりのできあがりです。

4. わかること

- ①草花の種類によって、電子レンジにかける時間がかかります。ほどよい加熱時間をさぐりましょう。
- ②ティッシュペーパーや厚紙は草花の水分をきゆうしゆうします。使用するたびに交換しましょう。
- ③電子レンジにかけると、色のかわる花があります。気をつけましょう。
- ④台紙の上に花や葉をおくとき、ならびかえてくふうしましょう。おもしろいしおりができます。



5. 注意すること

- ①加熱したタイルは素手でさわらないようにしましょう。
- ②ラミネーターから送りだされてきたフィルムはとまるまでまってから、とりあげましょう。動いている途中で無理やりひっぱると、フィルムが波をうったように変形します。

6. 参考になる本・資料

- ・『遊々サイエンス』 京都パスカル編・著 新生出版
- ・ <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/sugicom/>

※ここでとりあげた電子レンジとタイルを用いて草花をかんそうする方法は、京都市青少年科学センターの杉原和男先生が考えだされたものです。このたび、杉原先生に了解をいただいて使用しました。